様式1-2 別紙２　**しずおかフィナンシャルグループ本部「しずぎんの森」生物多様性増進活動計画の概要**

申請者：**株式会社しずおかフィナンシャルグループ**　　**【維持タイプ】**

【実施区域・面積】

静岡県静岡市清水区草薙北２－１（0.67ha）

【生態系タイプ】

創出緑地

【実施区域の状況】

本サイトは、市街化区域に位置し、周囲には幼稚園・小中学校・高校（静岡サレジオ）・大学（静岡県立大学、常葉大学）、草薙駅、工場、事務所等に囲まれた都市部の創出緑地（樹林地）である。本サイトの樹林地の中心上部となる本部タワー屋上においては、希少猛禽類ハヤブサの繁殖に関わる指標行動を確認、猛禽類を専門とする有識者の指導のもと、人工巣も設置。

【目標】

希少な猛禽類ハヤブサも安心して繁殖活動できる多様な動物を呼び込むことができる創出緑地（在来植物を主とした樹林地）を維持し、社員や周辺の学校等との地域の環境教育支援に役立てる。

【主な活動内容】

【希少猛禽類保全対策】樹林地上部に位置する本部タワー屋上に設置した人工巣を維持するとともに、希少な猛禽類の営巣状況を無人撮影カメラにより記録・観察する（「つがい」で生息）。

【自然とのふれあい活動の場としての活用】自然観察会の実施、セミナーやウェブサイトにおける生物多様性に関する情報発信、周辺学校等における環境教育に役立つ自然観察ガイドの作成、周辺の学校と連携した自然とのふれあい活動の場としての活用を促進する。

【外来植物の防除】「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」に記載される植物を草刈りの際に駆除する。

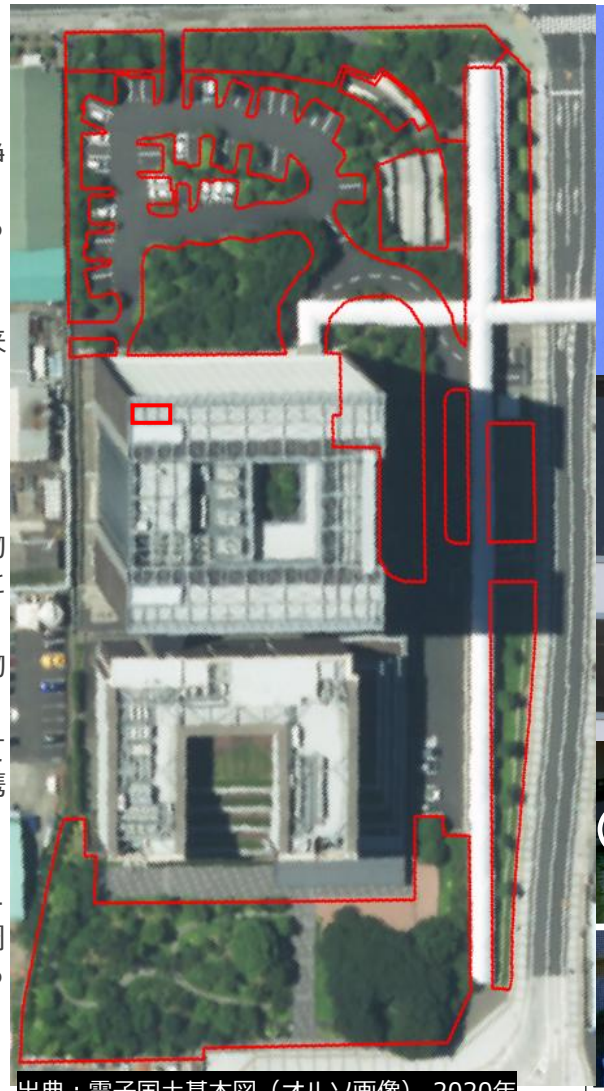
【周辺緑地とのつながり】希少猛禽類ハヤブサは、本サイトと自然共生サイト麻機遊水地を行き来していることが観察されている。このため、当サイトだけでなく、麻機遊水地での保全活動についても連携支援し、地域とのつながりにも配慮した取り組みを推進する。

【モニタリング計画】

一般鳥類・希少猛禽類、昆虫類、植物を対象として、①森の前庭、②森の駐車場、③ポケットパークにおいて、エリア毎にモニタリング調査を実施する。希少猛禽類については毎年度モニタリング調査を実施する。一般鳥類、昆虫類、植物については、3年に1度の頻度でモニタリング調査を実施することを計画している。

【実施体制】

活動計画を作成し、有識者（静岡サレジオ高校等の理科教員・株式会社環境アセスメントセンター）と連携しながら、希少猛禽類調査・環境教育の場としての活用、外来植物の防除を毎年実施する。また、樹林地の多様性（種数等）・健全性（外来植物）を確認するため、3年に1度の頻度で鳥類・昆虫類、植物のモニタリング調査を実施する。
なお、本サイトは、自然共生サイトである麻機遊水地（本サイトから北西へ4km）と有度山頂上（本サイトから南東へ4km）をつなぐ線上にあり、希少猛禽類ハヤブサが麻機遊水地・梶原山の方角に飛び立つ様子も観察されることから、相互を行き来して自然環境を学ぶ活動を実施します。



出典：電子国土基本図（オルソ画像） 2020年







【計画期間】

2025年9月～2030年3月